

A による犯行手記

<経緯>

ネットの裏サイト掲示板より少女レイプの仲間を探す。
苦戦の末、私(A)は2人の仲間を見つけた。3人とも過去のレイプ経験は無し。

(場所) ○○県東部 ハイキングルートの入り口からおよそ700mの貸別荘を使用。
当時、改装中にて使われておらず、周りの建物や駐車場からはかなり距離がある。

事前に決めてあったのは犯行場所、連れ去りポイント、誰が処女を奪うかなど簡単なことのみ。やり取りは経緯が残らないよう海外のSNSを利用。数日後にはチャット文自体削除となるように設定。犯行当日(7月某日午前)、私が黒のバンを用意し決めてあった場所まで2人を迎えに行った。2人とはその日初めて会った。お互いの情報はなるべく共有しないというルール。もし1名が警察に捕まっても、共犯者の情報が分からないようにするためだ。

ハイキングコース入り口付近の細道で待機。ある程度人通りがあり、気に入ったターゲットが一人きりになるというシチュエーションがなかなか来ない。3時間ほど待ったがうまくいかず連れ去りポイントを変更。人通りがかなり減るが別ルートのコース入り口付近の小道に車をつけ待機。午後3時、○校生と思しき身長160cmほどの少女が一人で歩いてくる。

少女の特徴

髪は黒のストレート。痛みがなくつややかな髪。シャンプーのいい香りがする。
バスト85ほど 色白でかわいらしい美少女 スポーツをしているのか颯爽とした歩き
その後の調べで 本名 ○岸あんな 私立○○学園○等学校2年生
休日に友達とハイキングを予定し、我々の獲物探しのエリアをたまたま通りすぎる。
友達のドタキャンに一人で山登りに来たようだ。

連れ去りのタイミングが合わず何度も少女の前を通りすぎたが少女は気づいていなかったようだ。一人(B)は車から降り事前に羽交い絞めをし、そのあと車を近くにつけて後部座席のCが車へ無理やり押し込むのをサポートすることにした。予想よりはるかに抵抗。口をふさいでも叫び声が響き渡る。

失敗かと思ったが何とか車に乗せたところで運転担当がすぐに車を発進させ、ひとまず連れ去りに成功。しかし、この時点で心臓はバクバクいって自分たちのしている行為におそれおののいた。少女の激しい抵抗と絶叫に、やっていることの重大さに気づいたのはこの時である。

(コテージにおける性行為)

基本的に少女を犯すときは常に撮影をしていた。本コンテンツはそのうちのほんの一部を音声データとして提供するものだ。時系列にデータをまとめたが、我々の声や周辺環境の音は我々を特定する参考データとなってしまうため、事前に AI 解析の上除去している。少女の叫び声、喘ぎ声を楽しんでほしい。

ちなみに、挿入時やピストン時の少女の体液の音は残してある。処女に無理やり性器をねじりこむ様子や少女の尻に体を打ち付けるようにピストンするなど我々の勇姿がおさめられている。映像は提供できないが音でその辺の臨場感を感じてほしい。とにかくすごすぎる体験だった。

以下は各音声データに関する情報だ。

yuukai_rape1.mp3

コテージに到着し、少女を車から引っ張り出してコテージ内のリビングに入れたときの様子だ。リビングには常時セックスできるようにベッドを置いていた。立ったまま私が彼女を羽交い絞めにして C は服の上から匂いを楽しんだ。少女特有のミルクの匂いがするといって執拗に服の上から匂いカギを楽しんでいた。徐々に服を脱がしていき C は少女の体(胸や脇)を舐めたり、処女のあそこに指を入れたりした。

yuukai_rape2.mp3

ベッドに押し倒して後ろから B が少女の足を抱え上げて M 字開脚をさせた。この時点ですでに少女は全裸になっておりピンク色の性器があらわになった。陰毛は多いほうではなく清潔に生えそろっていた。一人が少女を抱え上げ、私が最初の挿入を行った。ミチミチと処女の性器をかき分けてチ○ポを挿れていくのは感動であった。相当にいたがって絶望しているようだったが、私は少しずつ動かし、だんだんとピストン運動を開始した。興奮のあまり長くは持たず、これでもかというくらい少女の膣に射精した。まさに至福の瞬間だった。



yuukai_rape3.mp3

次に少女に挿入したのは B だった。C は録画に集中していた。処女を奪われて間もない少女を四つん這いにし、バックから挿入した。私は少女を押さえつけ、結合部分を見ていた。明らかに少女の性器には大きすぎるチ○ポをこすらせ、メリメリと無理やり挿入するのを見たときは、射精後だというのにまたすぐに勃起せざるをえなかった。その後、B が騎乗位を試してみたいというので私は彼女をつかみ B の上に乗せた。ずぶずぶと B のチ○ポが奥まで入っていくのが分かる。B は腰をくねくねと動かし、少女の性器内部の濡れと温かさを楽しんでいるようだった。そのまま射精している。

yuukai_rape4.mp3

前の音声から休ませずにそのまま C によるレ○プ。少女は「壊れちゃいます。ちょっと休ませてください」と言って懇願したが、我々は聞く耳持たず欲望を満たした。正常位から少女を持ち上げ、駅弁をしようとする。我々も驚いたがどうしても C がそうしたいというので、私と B で少女の体を支え、なんとか駅弁の状態を作った。少女は力がはいらず、C の方に腕を回させたがほとんどは私と B で状態を支えていた。パンパン音を出しながら駅弁で少女を犯すのは非常に興奮した。その後、リビングのテーブルに手をつかせ少女を立ちバックで犯した。AV の見過ぎなのか、今度は少女にベッドでブリッジをするよう求める。アクロバットセックスというやつだろうか。これも私と B で状態を作り、C がチ○ポを挿入させて実現した。少女はブリッジ状態で顔が真っ赤になり、射精されるとのけぞる様子は見えて非常に卑猥だった。

yuukai_rape5.mp3

最初のレイプから数時間あけて、彼女を風呂場に連れていった。体や髪を洗ったりした。私は我慢がなくなくなり、浴槽につかりながら立ちバックで彼女をレ○プした。風呂場に悲鳴がこだましてなんとも臨場感があった。きつきつでヌルヌルのマ○コに無理やり男性器を押し込む快感を感じ、そのまま膣内射精した。私の性欲はまだ衰えず、目の前の美少女にあらゆる卑猥なことをしたくなった。おしっこをさせてその様子を楽しみ、直後のマ○コを卑猥に舐めると、気持ち悪さから少女が絶叫した。それに興奮し私は体中舐めあげた。

yuukai_rape6.mp3

次の日、B は少女にイラマチオをさせた。少女の怯えや攻撃性のないことから男性器を噛まれないと判断し、無理やり口のなかに男性器を押し込んだ。C は少女を羽交い絞めにしイラマチオのサポートをしていた。私は撮影しながら少女の口からよだれが滴るのを見て興奮していた。B はチ○ポを根本まで押し込み、少女の喉奥で射精した。射精に合わせて少女がうめき声をあげた。男性器を抜かず、そのまま飲むことを強要した。一部口から精液をこぼしながらごくっと音を立てて飲み込むのを見た。その後さすがに少女はせき込んでしまった。初めて飲んだ精液はどのような味だったのだろうか。ちゃんと本人に感想を言わせればよかった。この方法を見て、以降私も C も少女になんどもイラマチオをし、喉奥で射精して精液を飲ませた。少女の柔らかい舌でとろけるような感覚を味わった。悲痛な表情でゆがむ顔を見下ろすのもなんとも支配欲を満たしてくれた。

yuukai_rape7.mp3

2 日目の午後。我々の欲望はさらにエスカレートしていた。C は少女を四つん這いにし、アナルをよく観察したあと、アナルバイブにローションをつけ、少女の小さくてきれいな肛門にねじ込んだ。私は詳しくないので、アナルプラグとよばれるもので SM 用の玩具らしい。その新しいリアクションに私はもっとやれという気持ちになっていた。C はさらにバイブの電源を入れアナルの中で電動回転させた。どんどんアナルが拡張されていくのが分かったが、少女は痛みを訴え抵抗した。体を押さえるのが大変だった。その後 C は少女に「好きです」を無理やり言わせディープキスや正常位を楽しんだが、それを見ていた私は嫉妬していた。

気のすむまで少女をもてあそび、数日後少女を放置して解散。おそらく警察に連絡はしてるはずだが、まだ誰もつかまっていない(はずだ)。

レイプにおけるルールは、暴力（殴る、蹴る）などを行わないこと。ただし、遠慮はせずに普段思い描いている「いけない妄想」を存分に楽しむこと、だった。我がもののように、好きな時に胸に吸いつき、好きな時に少女の膣に射精できるのは夢のようだった。食事を適度に与えており、最後まで抵抗し悲鳴を上げていた。幼いながら最高の女優だった。当分は録画した映像を見ながらこの時のことを思い出しおかずにできそうだ。

今回販売するのは終始回してしていたカメラ映像から音声を抜き出したものである。

*注 今後も作品を楽しみたかったらくれぐれも通報などしないように。